

芦屋市社会教育関係団体公募提案型補助金事業団体企画提案書

芦屋市長宛

所在地 芦屋市精道町〇番〇号

団体名 芦屋芸術写真を学ぶ会

登録番号（ 1111 ）

代表者氏名 芦屋 太郎

企画名	芸術写真を体験する講演会・発表会
-----	------------------

I 団体について

1 団体名	芦屋芸術写真を学ぶ会		
2 代表電話番号 (FAX番号)	0797-38-XXXX (0797-38-XXXX)	3 会員数	40 名
4 企画担当責任者	氏名	芦屋 花子	
	住所	芦屋市精道町△番△号	
	電話番号 (FAX番号)	0797-38-△△△△ (0797-38-△△△△)	
	メールアドレス	XXXX@△△△△	
5 日常の活動概要	活動場所	芦屋市民センター会議室	

	活動内容	月1回の定例会 会員による地域の施設への訪問活動 (〇〇老人ホーム、△△センター等) 年1回の作品発表会の開催
6 活動実績	<p>*市民を対象とした事業などの実績(主なもの)</p> <p>地域施設への訪問活動では、会員が各自の作品を持って施設の方を含めて作品の批評を行ったり、持ち寄ったカメラで写真技術の勉強を行ったりして地域の方との交流も深めている。</p> <p>年1回の作品発表会は、市民センターの多目的ホールで開催しており、広く市民の方に公開し、毎年約250名の市民の方に来場いただいている。意見や感想をもらう中で、本会の活動内容をご説明し、興味を持っていただいた方を通して、訪問先施設を紹介いただく等、新たな交流に繋がっている。</p>	

II 企画提案について

1 対象	対象者	*どのような人を対象に行うのか(大人・子どもなど) 対象者制限なし。年齢に関わらず広く対象とする。	
	参加予定人数	参加予定人数 (内訳) 事業実施団体からの参加人数 上記以外の参加人数	84名 14名 70名
2 開催予定日時	*準備や撤収の時間を除く 令和〇年7月21日(土) 午前10時～午後5時		
3 開催場所	芦屋市民センター 本館		
(民間施設において開催する場合、公共施設を利用しない理由)			
4 周知の方法	*現在予定している手段(チラシ作成の有無、予定している配布先など) 広報あしやへの掲載、広報掲示板へのポスター掲示。 公共機関、訪問先施設、報道各社へのチラシの配布		
5 募集	*事前申込みが必要かどうか。事前申込みの場合、具体的な申込み方法。(ハガキ・電話・メール等) 事前申込み必要。チラシに記載する電話番号またはメールアドレスに連絡する。		

6 参加者負担金	<p>参加者負担金 ・あり ・なし</p> <hr/> <p>(ありの場合) 会員負担金 300 円 会員以外の負担金 300 円 *一人当たり</p>
7 事業行程	<p>*事業スケジュール (実施予定日・実施内容を時系列順に記載)</p> <p>7月21日 午前10時から10時10分 開会のあいさつ 午前10時10分から12時 講話・写真撮影等の説明 午前12時から午後1時 休憩 午後1時から3時 撮影 午後3時から3時30分 休憩・グループ分け 午後3時30分から4時 グループで話し合い 午後4時から4時40分 発表 (1グループ5分程度) 午後4時40分から5時20分 作品の批評等 午後5時20分から5時30分 閉会のあいさつ</p>
8 事業の実施体制	<p>*事業を実施するための組織体制 (受付スタッフ〇名など)</p> <p>司会 1人 ・ 受付スタッフ 3名 ・ 補助スタッフ 10名</p>
9 内容	<p>*テーマ、形態 (ワークショップ・講座・講演会・シンポジウム・フィールドワーク・実習・展示等)、講師がいる場合は講師名などを具体的に記載。 *団体の特性を活かしている点など</p> <p>「芸術写真に触れて、思い出の写真にアクセントを」をテーマに講演会と作品発表を行う。</p> <p>〇〇〇芸術大学教授 △△□□さん (別紙参照) を講師に招き、午前中は芸術写真についての講話と、写真を撮る際の技術などを学ぶ。午後からは「自分の好きな芦屋の風景」(または「残していきたい芦屋の風景」) をテーマに、2時間ほどの時間をかけて、参加者が各自で写真を撮影し、その後、参加者を10名程度のグループにわけ、グループごとにそれぞれが撮影した写真を発表し、お互いに意見・感想等を交換する。発表会の最後には、講師の方から作品の批評やアドバイスをもらう。それぞれが撮影した写真はその場でプリントアウトし、写真立てに入れて持ち帰っていただく。</p> <p>当日は原則参加者にデジタルカメラを持参いただくが、持っていない場合は申込みの際に相談に応じる。</p> <p>また、地域施設への訪問活動を活かし、地域の方が撮影した写真を展示する。こちらは無料で参加者以外の方も見学できるようにすることで地域の方との交流を深めることができる。</p>

<p>10 期待される効果 (目標)</p>	<p>*企画の実現により期待される効果・目標など *地域活性化や参加者への学びの提供など</p> <p>芸術写真という難しいイメージを持たれるが、この企画を通して写真の技術を学ぶことで、家族や友人との思い出写真を撮る際に、アクセントを加えて、さらにより思い出となる写真を残して欲しいと考えている。</p> <p>また、各自が撮影する写真のテーマを「自分の好きな芦屋の風景」(または「残していきたい芦屋の風景」)とすることで、自分たちが住む芦屋について、改めて考えるきっかけとして欲しいと考える。</p>
<p>11 企画の特色 (新規性・独自性・ 独創性)</p>	<p>*これまでの事業とは異なる新たな取り組み内容 *団体としての独自性や独創性、専門的な知識や経験、実施能力など</p> <p>今回は、隣の会場も借用し、地域の方の芦屋市に関する作品を展示することで、地域の方や参加者が改めて芦屋について知る機会となる。グループごとの作品発表においては、各グループに会員を配置やすすることで、自分たちの普段の活動で得た写真撮影に関する知識・経験などを市民の方に伝えることができる。他にも、作品について意見交換を行うことで、地域や世代間の交流を図ることができる。</p>

※この様式に書き切れない場合は、別の用紙（A4サイズ、様式自由）に記載するか資料を添付してください。